

団体概要 管理番号	団体名	活動にあたっての問題点・課題、対策			今後のまちづくりについての意見・提案
		問題点・課題	対応策	犬山市の現状についてどのように感じているか	意見・提案
1	精神障がい者家族会 犬山しらゆり会	当事者の親は80歳前後が多く、親なきあとに不安を持っている。「今から自立してほしい」と願っている。当事者本人は親に感情的になっている。	訪問看護、訪問介護を利用し、親、当事者本人の手助けをしてもらっている。親の方は感謝している。（当事者本人は訪問を嫌がっている。）	令和に入って、犬山市役所、福祉課に「成年後見センター」ができ、話し相手になってもらっている家族がいる。感謝しているが、難しい内容だと思う。	私は長年、託児ボランティアをし続けてきましたが、このコロナの影響で休みが多かった。いざ再開しようと思っても、またこのボランティアをやり始めようとする人がほとんどいなくなってしまった。養成講座を設けて、1からやり始めたい人のため、市で予算をくんで企画してほしい。
2	犬山地区保護司会	問題点としては、新任保護司の確保が困難になっている事と、保護司は対象者のプライバシーを守る必要がある為に、地域において活動するのに、秘密裡に行動をしていたので、保護司とはどういうものかという理解を、していただけない方が多い現状です。	地域に、サポートセンターを設置して、活動の拠点として、地域への広報や保護司活動の社会的評価の向上につとめてゆきたい。	都市部に対して、犬山市内の保護観察対象者が多くもなく、全国平均並であります。しかしこれからは、違法薬物に関する対象者が、増えてゆくのが、予測されるので薬物に対する危険性を広報してゆきたいと思います。	
3	特定非営利活動法人 犬山城下町を守る会	創立は昭和59年11月で、今年で満58年になりました。会員・役員の多くは他界し、若い人が入りにくい会の体質もあって、役員も高齢化したことが課題です。	現在の役員で一雙努力する必要あり。	景観行政では限界があり、町並みが便利さだけを追求することになりつつある。	平成18～19年度に実施された、電柱撤去時に伝統的建造物群保存地区条例を制定すべきであった。今からでも遅くない、「重伝建地区」を目指すべきである。
4	犬山市更生保護女性会	犬山市の補護司の先生方と協力して活動しています。今のところ問題点はありません。		時々、セーフティパトロール、募金活動をしています。割に協力していただけます。	犬山市民全体に対してのまちづくりの提案、配慮がないと思います。観光中心になっているように思う。市外の商売人に重きをおき、地元の商売人をおろそかにしている。
5	犬山市赤十字奉仕団	犬山市民に赤十字奉仕団が活動していることが、まだまだ知られていないことです。公報に出していただくこともありますが、つながりがないのでむづかしい。	団員が活動の内容を説明して、声かけはしております。	犬山施設の活用させていただけることは（減免で）大変うれしいことです。	市のバス運行地図をもっとわかりやすくしてほしい。利用しやすく、高齢者に説明してほしい。
6	犬山歴史研究会	1.会場確保と使用料金の事（フロイデ）市民は7か月前に予約できるが、年間計画をたてる時、未定（会場）で提示することになる。せめて1年前から予約開始してほしい。 2.会員の高齢化による減少	1.学供等（使用料無料の会場で実施（ただし設備に難あり） 2. Facebook、HP等で研修会をアピール	1.補助金3万円が支給され、ありがたい。ただし申請書類、事後報告書類が極めて煩雑。簡素化を要望する。 2.市全体で史跡・文化財を保護する姿勢があり、市長はじめ本研究会へのバックアップが感じられる。感謝！！	市役所の窓口などで無理、難題を主張する人が増えていると思う。反面、対応する職員も身構えてしまうせいか、冷たい口調で対応する人もいると感じる。窓口により、警備員を補充したり、カウンセリングの専門家なども常駐させ、相互に安心して対応できる役所づくりを希望する。
7	犬山市子供会育成連絡協議会	・活動の縮小、解散による犬山市子ども会育成連絡協議会に加入する単位子供会数が年々、減少している。 ・共働き夫婦の増加により、役員の負担が増加している。 ・子どもたちが塾や習い事に通うことにより、子供会活動への参加減少、縮小しているため前より活動の幅が狭くなっている。	・1年に1度、広報紙に犬山市子ども会育成連絡協議会の活動内容の紹介、単位子供会への加入促進を周知している。 ・犬山市子ども会育成連絡協議会に加入すると補助金が交付されること、綿菓子機、ポップコーン機等の備品を貸出してもらえる等のメリットを周知している。 ・映画鑑賞会、カルタ取り大会等のイベントを企画・実施して、多くの子供達に子供会活動に参加することの楽しさを提供している。	・それぞれの単位子供会で地域による独自性はあと思うが、組織作りや活動の場の提供をバックアップして欲しい。	子供会の活動を通じて、子供達がキャンプやお祭り、季節の行事等の非日常のイベントに参加することにより、地域の大人や異年齢の子供との交流、一緒に活動することを通して学校や家庭では学べない多くのことを吸収して、社会性が身につく子どもたちの成長や居場所を作ることに繋がると考えています。子供たちの健全育成のため、単位子供会に対する補助金等の支援を今後も縮小することなく、継続していただくことを希望します。
8	犬山安全運転管理協議会	犬山警察署と連携しての活動が主たるものであるため、特にありません。			
9	犬山金融懇話会	金融機関の支店長、次長が活動会員であるが、業種柄2～3年の人事異動分が伴うため会として、行政や地域企業団体と継続した交流が維持できていない。又、金融機関の労力不足もあり、平日での活動に時間をさきにくい。	会の会合など、メンバーが交流できる機会に、行政や他団体とのマッチングを一度にできるようにする。	物流拠点として成長が進む小牧、春日井からの物流の流れ、市町村で産業誘致を進めている大口町に比べ、五郎丸を中心とした農振地区の開発の制約が多く、地域内で創業成長した物流、製造業者が、移転拡張により他市町村へ行かざるを得ないケースがみられる。	犬山城を中心とした観光資源に加え、犬山に生まれ育ち、働く地元愛が強い皆さんが多い魅力のある市だと思います。観光のみならず、製造業、物流業のバランスのとれた都市計画による産業経済の発展をお手伝いしたいと考えています。
10	公益社団法人 小牧法人会 犬山支部	法人会は全国的組織で活動している会で、会員数は全国で約80万社弱の法人企業が加入しています。ところが、全国的に加入率が年々低下してきています。新規加入企業の数、休廃業退会企業の数を下回り、加入率が毎年下がりがり続けている。	法人会未加入企業に、法人会への加入推奨を継続して行っている。コロナ禍で対面面談もできず苦戦している。	小牧法人会犬山支部は幸いにも加入率が57%あり、小牧法人会13支部加入率平均が39%であり、それから見ると犬山支部加入率は高い。犬山市にある企業の2社に1社が法人会に加入いただいている。小牧法人会13支部の中でも1番の加入率を誇っているが、犬山支部でも毎年加入率を下げている。休廃業企業を、どう少なくさせるかが課題であると思います。	犬山市には、犬山城というすばらしいランドマークを持ち、観光資源が他市町村よりも多く有り、長所を伸ばし、魅力ある町づくりが進むことを願います。
11	犬山市遺族連合会	遺族会も高齢者が多くなり、退会される方が増えている。世代交代することもうまくで出来ず、縮小が問題となっている。	世代交代がうまく出来ればよいが、なかなか子供達に会の後継ぎを依頼しても受けてくれないのが、どこの家庭も同じようである。対応策がなく苦慮している。	犬山市に対しては、まず福祉課の職員の方々親切に遺族会の援護をしていただいております。また福祉バスを出していただき、大変助かっています。感謝しています。	遺族会は直接まちづくりについては意見はありませんが、慰霊祭を通じて子供達への平和教育の場を作っていたいただいていることは大変有意義だと思います。これからも継続してほしいと思います。個人的に、「道の駅」が早く出来るとよいですね。

団体概要 管理番号	団体名	活動にあたっての問題点・課題、対策			今後のまちづくりについての意見・提案
		問題点・課題	対応策	犬山市の現状についてどのように感じているか	意見・提案
12	今井開拓土地改良区	組合員の高齢化問題	特に有りません	特に無し	特に無し
13	犬山市民生委員児童委員協議会	1. 民生委員100周年を過ぎ全国的に組織が肥大化し時代の変化やニーズにマッチしていないところがある。 2. 民生委員の会長はいろんな充て職の会議に出席しますが、形骸化しており数合わせで参加しているように感じます。	1. 福祉サービスの現状を客観的にみれば住民にとって必要と不要が判別できます。組織が一度肥大化すると縮小するのは困難でしょう。 2. 市内外を問わず本当に精通した人を任命すれば内味の濃い活気ある審議会になります。市政のためにもなりますのでたまには前例を見直してはいかがですか。	1. 近隣市町の民生委員から「数十年前に犬山市に福祉会館が出来た。見学に行き我が町の遅れを痛感した。その後一生懸命施設を作ってきた。犬山市は建て替えしないのですか」と言われ答えに窮している現状です。 2. 住民の方からは近隣市町と比べレストランやスーパーがすごく少ないとよく言われます。	Back to now from the futureです。 10年後の犬山市の姿（人口、税収、福祉・・・）をしっかりと想定して、10年前の今からさかのぼって考えるとこの10年間のすべきことが分かってくると思います。
14	犬山しろひがし商業協同組合	当組合が安定した収入を確保するためには、空き店舗を増やさないことが重要です。しかしながら、昨年来から新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、特に衣料・生活・雑貨・飲食・旅行などの業種においては非常に厳しい状況が続いており、一部営業継続が困難な店舗も出てきています。いずれはコロナも終息する時期が来ると思いますが、コロナ以前の状況には完全に戻らないものと認識しています。	空き店舗への新業態の店舗誘致や集客につながる各種イベントの開催などを企画していきます。また、犬山市や犬山商工会議所、地域の民間団体や企業とも情報交換や連携した活動を通して商業施設としての魅力づくり、当組合の今後の方向性や役割を考えていきたいと思っています。	当組合が管理・運営する商業施設は、1988年6月30日に開店し、33年以上経過しています。開店から平成4年頃までは売上、客数とも右肩上がりでしたが、それ以降、減少の一途を辿っています。客数が減っている要因としては、近隣地域（犬山以外）の商業施設や低価格店へお客様が流れていること、少子高齢化や買物難民の増加も影響していると思われます。	
15	犬山市自衛隊協力会	自衛隊音楽隊による演奏を主催しているが、費用がかさむため毎年開催することができず、数年おきの開催になっている。	楽しみにしている市民も多いが、入場無料ということもあり、現状となっている。	災害派遣時だけ自衛隊と話をするのはなく、日ごろのコミュニケーションが必要と考える。	狭い道路が多すぎるので、道路拡幅を積極的に進めてほしい。
16	羽黒コミュニティ推進協議会	現在、会員の高齢化とともに役務作業のケガや事故等も出る恐れがある中、若い世代への引継ぎとして役員の子息が代理参加を認めることも問題解決の一策となると思います。 どの団体も同じ悩みを持っていることと思いますが、このコロナ禍の中で各種行事の活動の休止等で、地域の活動も下降状態です。若い人達との連携を持ち、スポーツ面、老若男女誰でも参加のできる新しいゲーム、ウォーキング、その他イベント等を取り入れ、コミュニティに少しでも関心を持っていただくように活動すべきだと思います。 また、すでに積み重ねてきた行事等も継続が必要ですが、幸い羽黒地区には多目的スポーツ広場、ふれあい広場等の施設も完備されており、環境等にも恵まれています。行事の一例ですが、ここ数年、健康推進部会では、だれでも参加できる「キックゴルフ」を地区のスポーツ少年団、保護者を含めた皆さんでサッカーボールを使って楽しく競技をしています。こうした中で、スポーツを通して、コミュニティに関心を持っていただき、皆さんに理解を深めていただくようにしています。	この高齢化によって、今まで実行してきた力仕事に不安を感じている中、若い人材の加入を特に必要としている。 各種市民団体、地域の皆さんの知恵と力を頂く事で、市民の皆さんにもっと理解と応援をしていただくように働きかける。		犬山市としても、各小学校地区コミュニティの現状を見ていただき、コミの財源、補助の見直し（値上げ等）も考えていただき、適切な指導と助言をよろしくお願いたします。
17	犬山市スポーツ推進委員連絡協議会	スポーツ推進委員の役割は実技指導や助言に加え、組織の育成を図り事業を実施して連絡調整をすることです。現在私達スポーツ推進委員は「なり手不足」で定員割れをしております。埋もれた人材を探し出すことが課題になっています。	スポーツ推進委員の認知度を高め、委員の存在価値を示す取り組みをする。それには私達の活動を広げて地域の皆さんとかかわる機会を増やして私たちの存在を身近かに感じてほしいです。	新型コロナウイルス感染の収束が見えない状況の中で私たちスポーツ推進委員は苦心をしています。年間の計画や準備をしても実施出来ずさみしい思いが2年続きました。全ての活動が年間を通じて出来る日々がくるのを待っています。	先日の豪雨により木曽川が増水し、緑地公園の野球グラウンドが水没しました。増水した緑地公園の流木を撤去して東面は使用出来ますが、西面のグラウンドは今なお使用できません。出来る限りはやく整地してほしいと思います。そして水の入らないような対策をして下さい。よろしくおねがいします。
18	特定非営利活動法人 犬山市体育協会	各競技団体役員の高齢化と次世代役員の育成	会議内容の見直し精選とデジタル化の推進による業務の軽減	市民の各競技団体への加盟や市民大会への参加等により、健康志向・スポーツ活動への参加意欲はそこそこあるように感じる。	・市内体育施設に関して、利用料金が市内・市外別料金設定する施設と同一料金設定する施設があるので、別料金設定にした方がよい。 ・予約システム導入に向けて取り組んでほしいと、利用者の声が多い。時代の流れとして利用者の利便性を図ってほしい。
19	公益財団法人 犬山市シルバー人材センター	・定年延長等による男性会員の新規入会員の減少 ・会員の高齢化に伴う退会 ・女性会員の増員確保	・従来月に1回であった入会説明会を本年度から第1金曜日の午前と第2木曜日の午後と2回実施 ・本年度から女性委員会を設置	犬山市からは派遣と請負の2本立てで契約しているが業務として請負契約はグレーな部分が多く、派遣契約への切り替えが望ましい。	改善は進んでいると思うが、まだまだ縦割り行政と感ずる部分もあるので、より一層の継続的な見直しを執行してほしい。
20	城東小学校区コミュニティ推進協議会	会員が1年で交代してしまうので、継続的に行うような活動は出来無い。まだ未加入の町内があるので、参加して頂く様に勧誘しているが、町内の役員も1年交代なので、なかなか話がまとまらない。	行政の方からプッシュして頂けないか？		善師野地域にはスーパー等の日用品販売の店の誘致。 県道の幅が狭いので拡張して、歩道も設けると安全になる。

団体概要 管理番号	団体名	活動にあたっての問題点・課題、対策			今後のまちづくりについての意見・提案
		問題点・課題	対応策	犬山市の現状についてどのように感じているか	意見・提案
21	犬山市ボランティア連絡協議会	高令化、後継者不足、若手層不足が進み、組織の崩壊や維持に苦慮している。連協としての存在意義を再考するべき時季にきている。	関連団体との連携による活性化が必要。まずは身近な協働プラザなどとの協働を模索してみたい。	傷害者福祉（要約筆記、手話）、防災について積極的に対応できている。今後も進めてほしい。健康づくりについては予防に注力し、新しい手法も取り入れてマンネリ化を防止してほしい。	・IT関連の事業を積極的に進めていることが良い。ただし高令者が取りこぼされない配慮を願いたい。 ・犬山はすばらしい自然環境がある。城以外にも目を向けてほしい。
22	犬山市危険物安全協会	危険物施設が減少し、会員数及び予算が減少している。	危険物のみではなく火災予防をとりくみ、危険物防火協会に改める。	以前は個人事業主も会員であったが、事業を休業し、退会してきている。	
23	犬山ライオンズクラブ	クラブの会員数の減少に伴い、奉仕活動もクラブに負担となってきている。	会員維持、会員増強を第一に揚げ、奉仕活動に喜んで参加できる雰囲気を作る。	もっと観光都市犬山をアピールしていただき、他地域からの人流が増え、年4回（春夏秋冬）と犬山市感謝祭の日を設けてクラブとしてお手伝い等したいと思います。	前から映画館があるといいなと思っています。映画鑑賞前後で城下町を散策、いろいろなルートを提案するのどうでしょうか。
24	犬山西地区コミュニティ推進協議会	1. 役員の高令化に伴い事業継続の難しさを痛感。 2. 西小校区内で行政所管団体の管理体制が分断されており、自主事業展開の場合、調整に時間がかかり効率が悪い。	1について ①役員会にオブザーバーとして市職員の参加を要請。 ②市民活動支援条例の見直しの中、協働プラザにプラスして「コミュニティ」に関する条例を追加検討して頂きたい。 2について ①高令者安心相談センター、北、南地区担当地区の見直しをお願いしたい。 ②民児協も分断されているので西地区の創設を。 ③町会長連合会、市老連、協議体、ミーティング。同様課題。	コミュニティ活動で校区内町会が全町参加頂けない現状を鑑み、条例の制定は認知度も高まり、ぜひ必要と思われる。 自然災害が毎年多発している現状を見ると避難所開設時の運営はコミュニティに期待する事が大と思われるが、行政側はどう見ておられるのでしょうか。	①テレワークの常態化に伴い、ポストコロナに見据え貸オフィスを作ってはどうか。→フロイデの地下の活用もその一つ） ②市、公共施設にはぜひ、フリーWi-Fiの創設を。 加えて、CCnet123がスタートしたので、ぜひ公共施設で見れるように環境整備を。
25	犬山市特産品協会	・会員の減少、高齢化 ・犬山市の特産品の知名度不足	・市内外のイベントへの出展や、イオン等民間施設への出店によるPR ・会員の勧誘（加入に一定の条件があることもあり、進んでいない）	・特産品に限らず、観光客がお土産を買っていかない（お金を落とさない）人が増えている。 ・特産品の製造する事業者が高齢化してきており、担い手がいるところ、いないところがあるものの、今後衰退していきまうことが心配される。	市内の特産品のあり方について市として考える必要があり、支援をしていってほしい。
26	犬山市心身障害児（者）父母の会	・会員数が減少しています。入会して下さる若い方が、大変少ないのが現状です。又、現会員も高齢化して、活動が制限されてきています。 ・会の活動内容を知ってもらう事が急務だと思います。	・若い世代との交流会を開き、活動内容を知ってもらう。 ・こすもす園、保育園、学校に出向き、会の情報を発信する。	来賓の方、民生委員の方々と交流して、行事を進めています。 福祉にご理解があり、障害のある子を温かく見守って下さって、有難く感じています。ただ福祉関係者だけではなく、市民の方々の中に障害児（者）が溶け込む難しさはあると思います。交流センターフロイデのトイレにユニバーサルベッド、オストメイトを設置していただけて、有難かったです。	現在、障害を持った子が、集まりたのしむ行事を父母の会で企画して、父母の会だけでやっているのが実状です。障害を持った子らが集える、行事やお祭り、イベントをまちづくりの中でやっていただけたら、是非是非参加したいです。
27	犬山ロータリークラブ	特になし		特になし	特になし
28	犬山北のまちづくり推進協議会	①事業者の会への加入が半数程度。 ②会員の高齢化 ③行事の経費は会員の会費が主で財源の確保	①会員加入の促進 ②観光事業は田の自治体では観光協会等が主体で実施している。 ③行事におけるスポンサーの確保（協力） ④行事におけるボランティアの確保	①城下町全体（城塞都市）の整備計画が必要。 ②城下町で古民家（木造、密集）と特殊事情を配慮した防災計画。 ③古民家の取壊しをいかに歯止めをかけるか課題。取り壊しが進めば犬山の歴史の滅失、観光も衰退する。町割・古民家の保存・景観整備の条例化（市独自の重伝建条例）	①犬山の自然・歴史・文化を守り発展する方法を示す。（丸ノ内地区の吉野桜の減少。名勝犬山・犬山祭りにとってても補植が必要） ②子ども・若者・女性・老人に対する施策の具体化 ③各地域毎の整備計画と具体化。均衡の取れた施設設備。 ④犬山まちづくり（株）の運営について第3セクターとしての商業地の活性化のための事業としての再確認。1/2の株主として議会・住民への説明責任を。
29	犬山用水土地改良区	①用水ポンプ施設などの農業水利施設の老朽化による長寿命化対策 ②農業者の高齢化、離農の進行	①定期的に点検・診断の結果に基づき、行政と協議しながら、補修、更進等を適切な時期に実施する。 ②行政と連携しながら、利用集積等により、大規模経営者との調整を図る。	依然として、高齢化による担い手不足や離農者への進行を危惧している	
30	犬山市PTA連絡協議会	通学路における安全対策が課題と思います。1時間以上歩いて学校に行く子供が半数以上いる小学校があります。途中で多くの車が通る曲がりくねった道や変質者が発生しやすい周囲に民家のない暗い道がある。 地域の見守り隊だけでは賄いきれていないのが現状	通学路のガードレール設置や、防犯カメラ、街灯設置が必要	子供たちを見て感じるのは、昔からある部落と新たに山を切り開いて出来た住宅地では犬山市との関わり方や地域の行事の有無によるコミュニティにギャップを感じる。 例えば市議選での投票率の違いであったり、町内での夏祭りの有無など。	